

No.57 2013, Apr.

4 月・天地金乃神大祭号

<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

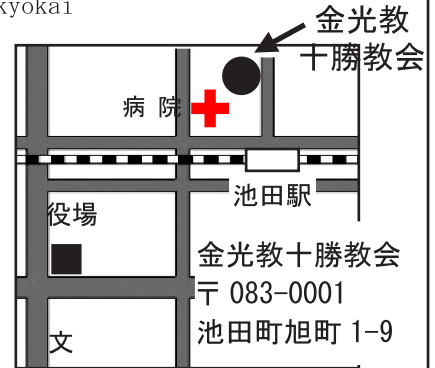
IKEDA

☎ 015-572-2322
fax 015-572-4213

十勝教会



だより 57

金光教
十勝教会

病院

役場

池田駅

金光教十勝教会
〒083-0001

池田町旭町 1-9

この度の春の御大祭は教話に替え、
網走教会長先生から東日本大震災被災
地支援ボランティアのお話を聞かせて
頂くことになっています。

さて、あの日からちょうど二年が過
ぎた三月中旬、仙台で開かれた会議に
出席することになり、この機会を利用
し、道内の数名の先生たちと気仙沼教



写真 - 気仙沼教会 -

教会のすぐ下まで津波が来ました。
その後避難所として解放されまし
た。

巻頭言 東日本大震災から二年

金光教十勝教会

会、石巻教会に参拝させていただく
ことにしました。

仙台、気仙沼、石巻と移動する道
中、目に飛び込んでくるのは、被災
地と被害の無かった（少なかった）
ところのコントラストのすごさです。
震災から二年が経過しましたが、被
災地は未だ被災地のまま、目に付く
のはガレキの処理場と何も無い荒地
です。大規模な復興事業が進む一方、
未だ仮設住宅で暮らされている方々
も多く、小さな漁港では、壊れた防
波堤などがそのままの状態で遺され
ています。

他方、仙台の繁華街は復興特需の
ためかススキノ以上に繁盛している
ようにも見えました。

三陸地方は小さな入り江と山（崖）

が入り組んだ地形（リアス地形）になっていますが、入り江はことごとく津波に襲われ、現在そこには処理場と荒地しかありません。ところが、そこからほんの少し山（崖）側に登った所はほとんど被害が無く、集落がそのまま残り、杉や松の林が生い茂っています。



写真 - 紫神社と会館 -
気仙沼教会の向かいにあり、教会と共に避難所として使われました。

ぎりぎりのところで津波の被害を免れた気仙沼教会長先生は「教会のすぐ下まで津波がやってきた。



写真 - 石巻教会 -
旧北上川沿いにあり、一階部分が浸水被害を受け、広前には今でもその跡が残っています。

坂の下の人たちに逃げろと言う以外は何もできなかった」と当時のことを振り返っておられますが、他の津波に襲われた地区でも、ほんの少し高いところに住んでいた人たちは同じ事だったのではないのでしょうか。

また、石巻教会長先生は「最近になってようやく信者さんたちが、自分が被災した時の話、亡くなられた人の話をされだしました」と

仰っておられました。やはり、助かった人たちも未だに重い物を背負われています。



写真 - 陸前高田・奇跡の一本松 -
松は枯れてしまいましたがモニュメントとして保存されています。

二年前の六月、音別の海岸で、津波で流された陸前高田の少年団のバスケットボールを拾いました。町を通じて陸前高田の子供たちへ返還させてもらいましたが、その時、岩手の新聞社からインタービューを受け「今は辛いだろうが、

新しい日常を作って、これからも
頑張つて欲しい」というメッセー



写真 - 石巻港周辺 -

かつては街並みがありましたが…
海沿いの街はことごとくは津波に
襲われています

ジを送らせて貰いました。

先月、被災地に暮らされる人々
の新しい日常のほんの一端ですが
垣間見ることができました。

一時にくらべ、新しい生活にも
慣れ、安心した生活が送れるよう
になったかもしれません。しかし、
それはあくまでも仮設でのことで
あったり、別の街でのことであつ

たりという、本来ならば普通では
無いはずのことです。被災地の方々
の多くは、未だに普通では無いこ
とを日常として受け入れながら生
活されています。

あの時、大きな被害の無かった私
たちは、今は被災地の方々と直接
関わることもない日常を送ってい
ます。震災から二年を経てマスコ
ミが取り上げる情報も少なくなつ
てきました。「復興は進んでいるだ
ろう。大きなニュースがないから



写真 - 気仙沼市街のホテル -
周囲は廃墟。このホテルも被災し
ましたが、ボランティア等の支援
もあって営業を再開しています。

大丈夫だろう」というのが私たち
の捉え方ではないでしょうか。し
かし、直接間接を問わず被災され
た人たちは、未だ「本来の生活で
は無い日々」を自分の日常として
いかなければならない状態にあり、
そこには私が思い描いた「被災さ
れた方々が立ち行く新しい日常」
とはかけ離れたものがありました。
復興は終わっておらず、私たち
ができることもまだ色々あり
そうです。

(玉置)

各教会大祭日程

春 秋

釧路 5月26日 10月27日

北見 5月3日 11月3日

帯広 4月21日 11月10日

網走 10月13日

滝上 6月2日 10月20日

夕張 4月29日 11月3日

函館 5月13日 11月13日

※網走教会90年記念大祭 7月7日

教会 日 誌

平成25年1月1日から4月7日まで

1月1日 元日祭。

1月3日 池田町、M家年頭感謝祭。

1月5日 薫別講社・年頭月例祭。

1月5日 帯広市、K家、M家、A家、合同感謝祭

1月6日 士幌町、T橋家、K家、年頭感謝祭。

1月20日 函館教会三代教会長一年祭、みよ子先生参拝。

1月25日 札幌市、T家、I社、A社、B社合同感謝祭・交通安全祈願祭。

1月26日 北海道教区信徒会委員総会、札幌教会。信徒会副会長出席。27日まで。

1月27日 札幌市、Y家、年頭感謝祭。

2月9日 芽室町、M家、式年祭。

写真・元日祭

教会長玉串のあと、巳年生まれの信奉者（上左）と参拝者代表（下右）が玉串をお供えし、今年一年の立ち行きを願いました。お屠蘇の振る舞い（下左）。





写真・薫別講社年頭祭

2月10日
余市町、I家、年頭感謝祭・住宅新築落成奉告祭。

2月11日
信徒総会・新年会。

2月17日
帯広市、I家、新車購入奉告交通安全全祈願祭。

2月19日
足寄町、S家、葬儀式。20日まで。

3月6日
音更町、M家、現場慰霊奉告祭。



写真・信徒総会 新年会
総会終了後、恒例の新年会を執り行いビンゴゲーム等を
楽しみました。なお、来年から総会は2月第一日曜日に
変更になります。



3月10日 足寄町、K家、式年祭。

3月17日 道東地区教会連合会総会、十勝教会。
信徒会長、副会長、衛先生出席。

3月20日 春季霊祭。

3月28日 士幌町、T家、葬儀式。29日まで。

4月1日 勸学祭。

写真・春季霊祭

祭典の後はいつもどおり、ぼた餅でお直会をしました。



4月4日 士幌町、T家、旬日祭。

4月7日 大祭前大掃除、大祭打合せ。

4月7日 足寄町、S家、合祀祭。

写真・勸学祭

今年も多くの子供たちが新しい一歩を踏み出しました。



教祖 130 年奉祝 本部生神金光大神大祭

十勝教会団体参拝のご案内

平成 25 年は教祖 130 年のお年柄にあたり、本部では 10 月に記念大祭が執り行われます。十勝教会でも下記のとおり奉祝の団体参拝を予定しております。参拝を希望される方は申込み事項を確認の上、教会までお申し出ください。

※旅程の詳細は別紙行程表をご覧ください。

- 日 程 出発 10 月 5 日（土）～ 10 月 8 日（火）帰着
 10 月 6 日（日）本部大祭参拝・本部聖跡参拝等
 10 月 7 日（月）～ 8 日（火）小豆島・高松観光
 ※帯広空港発着ですが帯広以外の空港発着もできます。
- 経 費 お問い合わせください
- 申 込 教会まで（×切 7 月 10 日。※最終受付 8 月末日）。

信徒総会・新年会の日程について

- 毎年 2 月 11 日に実施している信徒総会・新年会ですが、
 来年より 2 月第一日曜日に変更になります。

十勝教会これからの主な行事予定

- 境 内 清 掃 6 月 1 日（土）7 月 21 日（日）10 時
- 上半期感謝祭 6 月 30 日（日）午後 1 時 30 分
- 教会創立記念祭・布教功労者報徳祭 8 月 16 日（金）午後 1 時 30 分
- 秋 季 霊 祭 9 月 23 日（祝）午後 1 時 30 分

全国信徒会「北四ブロック信心研修会」- 教祖 130 年のお年柄をいただく -

- 日 時 平成 25 年 6 月 22 日（土）13 時～ 23 日（日）12 時
 ※ 22 日、23 日いずれか一日だけの参加もできます。
- 会 場 ホテル・ノースシティ（札幌市中央区）
- 内 容 記念講話 大分県日田教会長・堀尾光俊先生、パネリストカッソ
- 参加費 1000 円（宿泊を希望される方は宿泊費、懇親会に出席される方は
 懇親会費が別途必要です）
- 申 込 教会まで

教区少年少女キャンプ K I T A フェスタ 130

日時 8 月 2 日（金）～ 4 日（日）会場未定（栗山町もしくは豊浦町）

天地金乃神大祭次第

金光教十勝教会

- 先 祭員着席
 次 拝 礼
 次 神前拝詞奉唱
 次 取次唱詞奉唱
 次 祭主祭詞奏上
 次 祭主玉串奉奠
 次 天地書附奉体
 次 教会長玉串奉奠
 次 参拝者代表玉串奉奠
 次 神徳賛詞奉唱
 次 神人の栄光斉唱
 次 拝 礼
 次 祭員退下
 次 吉備舞奉納「^あ天^ち地」
 ○ 御神伝奉読・講師紹介
 ○ 教 話
 講師 金光教網走教会長
 菊川松次郎先生

かみひと

神人あいよかけよの生活運動

願 い

御取次を願ひ頂き

神のおかげにめざめ

お礼と喜びの生活を進め

神心となつて人を 祈り

助け 導き

神人の道をあらわそう



KONKOKYO
金光教

♪ 神 人 の 栄 光 ♪

- 一、^{あめつち}天地は^{かみ}神のふところ
^{ひと}人はみな^{かみ}神のいと子
 かぎりなき^{かみ}神徳のなかに
 生かさるるわれ等うれしき
- 二、^{ひと}人の世にとわの^{ひかり}光を
 いとし子につきぬみかげを
^{ちか}誓わしし^{かみ}教祖の^{かみ}神に
^{すく}救わるるわれ等うれしき

食 前 訓

^{しょくもつ}食物はみな^{ひと}人の命のために
^{てんちのかみ}天地乃神のつくり
^{あた}与え^{たま}給うものぞ
^{なに}何を食うにも飲むにも
 ありがたく^{いた}頂く心を忘れなよ

食 後 訓

^{たい}体の^{じょうふ}丈夫を願え
^{たい}体をつくれ
^{なにごと}何事も^{たい}体が元なり